

## II 令和元年度事業実績

### 1 家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、県、市町、開業獣医師、各種畜産団体及び家畜飼養者を含めた総合的な防疫体制で家畜伝染病の発生予防に努めている。

主な業務内容は、家畜伝染病及び家畜伝染性疾病の発生予防（発生予察を含む）とまん延防止のための検診、検査、予防注射、病性鑑定、各種疾病の抗体検査及び家畜飼養者に対する衛生指導等である。

なお、家畜の伝染性疾患発生予防の措置については、家畜飼養者等の自主的団体である管内市町の家畜自衛防疫団体と連携して推進している。

#### (1) 主な予防事業の内容

##### ア 牛のブルセラ病・結核病・ヨーネ病検査

本病の発生予防と清浄化、更に消費者への安全な牛乳の供給を目的として、5年に1度、乳用牛及び肉用繁殖牛（ヨーネ病のみ）を対象として検査を実施

##### イ 牛海綿状脳症検査（BSE）

本病の発生予防及び清浄性の確認のため、特定症状牛、48か月齢以上の起立不能牛及び96か月齢以上の死亡牛を対象に検査を実施（検体採取は県北家畜保健衛生所が実施）

##### ウ 放牧牛衛生検査

管内公共牧場に放牧された牛について、疾病による損耗を防止するため定期的に衛生検査を実施

##### エ 放牧予定牛衛生検査

公共牧場への疾病の侵入を防止するため、入牧前の牛について、各種疾病の検査を実施

##### オ CSF 検査

本病の清浄性の確認のため、農場において検査を実施

##### カ CSF 予防注射

本病の発生予防のため、県内で飼養されている全ての豚（出荷20日前及び哺乳豚を除く）及びいのししに接種

##### キ オーエスキー病検査

本病の清浄性を確認するため、農場及びと畜場において検査を実施

##### ク 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ検査

本病の発生を予察するため、家きん（鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥又はだちょう）を100羽（だちょうは10羽）以上飼養する農場を対象として検査を実施

##### ケ 家きんサルモネラ感染症（ひな白痢に限る。）検査

本病の発生予防のため、種鶏場で飼養されている9週齢以上の鶏を対象として検査を実施

コ 腐蛆病検査

本病の発生予防のため、養蜂業者及び個人が飼養する蜂群や園芸ハウス用の蜂群を対象として検査を実施

サ 輸入家畜の着地検査

輸入家畜による監視伝染病の侵入防止のため、動物検疫所による輸入検疫終了後の家畜の飼養地において、3 か月間、月 1 回の臨床検査等を実施

その他、家畜伝染病等の発生予防やまん延防止を図るため、各種疾病の検査及び不明疾病に対する病性鑑定等を実施

(2) 各家畜伝染病等検査成績

ア 検診・検査・予防注射

畜種	事業名		実績	検査結果			備考
				－	±	＋	
牛	ブルセラ病		1,677	1,677	0	0	告示
			40	40	0	0	告示外
	結核病		1,677	1,677	0	0	告示
			34	34	0	0	告示外
	ヨーネ病		2,820	2,820	0	0	告示
			6,023	6,020	0	3	告示外
牛海綿状脳症		166	166	0	0	告示	
豚	CSF	検査	717	717	0	0	告示外
		予防注射	76,130	－	－	－	告示
	オーエスキー病		823	823	0	0	告示外
鶏	高病原性鳥インフルエンザ及び 低病原性鳥インフルエンザ		530	530	0	0	告示
			16	16	0	0	告示外
	家きんサルモネラ感染症（種鶏）		708	708	0	0	告示
蜜蜂	腐蛆病		4,094	4,094	0	0	告示
			76	76	0	0	告示外
着地検査（輸入家畜）			142	142	0	0	告示外

イ 各種抗体等検査

(ア) 牛流行熱等抗体調査

畜種	疾 病 名	結 果							
		6 月		8 月		9 月		11 月	
		<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦	<2	2≦
牛	アカバネ病	25	2	27	0	27	0	26	0
	牛流行熱	27	0	27	0	27	0	26	0
	イバラキ病	27	0	27	0	27	0	26	0
	チュウザン病	27	0	27	0	27	0	26	0
	アイノウイルス感染症	27	0	27	0	27	0	26	0

(イ) その他各種検査

畜種	疾 病 名	頭羽数	結 果		
			-( < 4 )	±	+( 4 ≦ )
牛	地方病性牛白血病 (EBL)	4,715	2,908	0	1,807
	牛ウイルス性下痢・粘膜病 (BVD-MD)	3,360	3,360	0	0
	ピロプラズマ病	1,314	1,193	0	121
豚	豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS)	1,173	687	0	484
	豚マイコプラズマ病	620	276	30	314
	豚胸膜肺炎	618	259	19	340
	豚流行性下痢 (PED)	60	58	0	2
	豚伝染性胃腸炎 (TGE)	60	36	0	24
	豚サーコウイルス	20	9	0	11
鶏	ニューカッスル病 (ND)	370	23	0	347
	鶏マイコプラズマ病 (ガリセプチカム : Mg)	360	0	0	360
	鶏マイコプラズマ病 (シノビエ : Ms)	360	0	0	360
羊・牛	ブルータング	42	20	0	22

(参考) 家畜伝染病予防法第5条に基づく検査の詳細

(ア) 乳用繁殖牛のブルセラ病・結核病・ヨーネ病検査

市町名	さくら市	真岡市	日光市	塩谷町	茂木町	高根沢町	計
検査戸数	1	18	7	1	5	3	35
検査頭数(計)	41	791	539	13	187	137	1,708
乳用牛	41	763	539	13	187	132	1,675
肉用牛	0	28	0	0	0	5	33
結果	全頭陰性						

\* 乳用牛の定期検査農場で飼養されている肉用牛は、ヨーネ病のみ検査

(イ) 肉用繁殖牛のヨーネ病検査

市町名	鹿沼市	日光市	真岡市	さくら市
検査戸数	1	6	1	11
検査頭数	15	114	64	339
市町名	茂木町	塩谷町	計	
検査戸数	2	1	22	
検査頭数	4	1	537	
結果	全頭陰性			

(ウ) 種畜(種雄牛)のブルセラ病・結核病・ヨーネ病検査

市町名	さくら市	日光市	計
検査戸数	1	1	2
検査頭数	1	1	2
結果	全頭陰性		

(エ) 放牧予定牛のヨーネ病検査

市町名	宇都宮市	鹿沼市	日光市	真岡市	矢板市	さくら市	上三川町
検査戸数	0	11	4	5	0	1	1
検査頭数	0	63	32	24	0	1	3
市町名	茂木町	市貝町	芳賀町	塩谷町	高根沢町	計	
検査戸数	1	0	0	1	1	25	
検査頭数	15	0	0	10	425	573	
結果	全頭陰性						

(オ) 牛流行熱等抗体調査

市町名	宇都宮市	鹿沼市	日光市	芳賀町	塩谷町	計
検査戸数	1	2	1	2	1	7
検査頭数	3	7	3	10	4	27
結果	各疾病とも流行は認められなかった。					

## (カ) 死亡牛の牛海綿状脳症（BSE）検査

市町名	宇都宮市	鹿沼市	日光市	真岡市	矢板市	さくら市	上三川町
検査頭数	22	34	15	20	12	20	4
市町名	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	塩谷町	高根沢町	計
検査頭数	10	0	15	1	7	6	166
結果	全頭陰性						

## (キ) 家きんサルモネラ感染症検査

( ) 内は延べ戸数

市町名	鹿沼市	矢板市	さくら市	茂木町	市貝町	計
検査戸数	1	1	1(5)	0	1(2)	4(9)
検査頭数	59	59	472	0	118	708
結果	全羽陰性					

## (ク) 高病原性鳥インフルエンザモニタリング検査（定点モニタリング）( ) 内は延べ戸数

市町名	鹿沼市	日光市	高根沢町	計
検査戸数	1(12)	1(12)	1(12)	3(36)
検査羽数	120	120	120	360
結果	全羽陰性			

## (ケ) 高病原性鳥インフルエンザモニタリング検査（強化モニタリング）

市町名	宇都宮市	鹿沼市	真岡市	矢板市	さくら市	益子町
検査戸数	2	3	2	1	2	1
検査羽数	20	30	20	10	20	10
市町名	茂木町	市貝町	芳賀町	塩谷町	高根沢町	計
検査戸数	1	3	1	0	1	17
検査羽数	10	30	10	0	10	170
結果	全頭陰性					

## (コ) 腐蛆病検査

市町名	宇都宮市	鹿沼市	日光市	真岡市	矢板市	さくら市	上三川町
検査戸数	20	12	7	6	6	8	8
検査群数	562	1,016	41	569	170	676	77
市町名	益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	塩谷町		計
検査戸数	4	13	4	2	4		94
検査群数	386	63	12	72	450		4,094
結果	全群陰性						

### (3) 放牧牛衛生検査

公共育成牧場に放牧された牛について、定期的に衛生検査（臨床検査、血液検査、寄生虫検査、牛体消毒等）を実施した。

#### ○乳用牛

牧場名	所在地	草地面積 (ha)	放牧頭数 (頭)	放牧期間 (日)	検査回数 (回)	備 考
霧降高原	日光市	61	—	—	—	休止中
前日光	鹿沼市	47	41	141	10	
大 笹	日光市	306	210	周年預託	7	
小 林	日光市	22	51	187	10	
豊月平	塩谷町	33	25	180	10	
土上平	塩谷町	119	180	183	10	

#### ○肉用牛

牧場名	所在地	草地面積 (ha)	放牧頭数 (頭)	放牧期間 (日)	検査回数 (回)	備 考
横 川	日光市	49	27	144	4	
鶏頂高原	日光市	33	—	—	—	休止中
三 沢 原	日光市	10	3	122	3	
上 栗 山	日光市	60	9	86	2	
土 呂 部	日光市	19	14	129	3	
八方ヶ原	矢板市	104	66	149	4	
上 沢	塩谷町	21	28	202	4	
川 村	塩谷町	11	35	169	3	

#### (4) 病性鑑定

##### ア 市町別病性鑑定実施状況（件数）

市町名	乳用牛	肉用牛	馬	豚	鶏	その他	計
宇都宮市	4	11		2		3	20
上三川町		2					2
鹿沼市		6				2	8
日光市	2			4			6
真岡市	2	3		3		2	10
益子町							0
茂木町							0
市貝町	5				1		6
芳賀町		1			0		1
矢板市	4	2				1	7
塩谷町		2					2
さくら市		5		2	1		8
高根沢町	6	1		4	1	5	17
合計	23	33	0	15	3	13	87

##### イ 原因別・疾病別病性鑑定実施状況（件数）

疾病名	乳用牛	肉用牛	馬	豚	鶏	その他	計
ウイルス感染症	3	4		4	1	6	18
細菌感染症	4	9		7	0	3	23
寄生虫病	5	4			2	1	12
代謝障害		1					1
外傷不慮							0
その他	11	15		4		3	33
計	23	33	0	15	3	13	87

##### ウ 主な診断結果

【ウイルス性感染症】ブルータング(6件)、牛ロタウイルス病(2件)、  
牛RSウイルス病(3件)、鶏痘(1件)

【細菌性感染症】ヨーネ病(3件)、牛大腸菌症(1件)、牛マイコプラズマ病(2件)  
牛パスツレラ症(2件)、浮腫病(1件)、豚胸膜肺炎(2件)、  
豚マイコプラズマ病(1件)

【寄生虫病】牛コクシジウム病(9件)、鶏回虫症(2件)、ヒストモナス病(1件)

### (5) 家畜自衛防疫指導

家畜飼養者自らによる家畜防疫意識の啓発・向上のため、家畜自衛防疫団体に対し指導、研修会を行った。

対象	開催回数	市町	内容
自衛防疫団体	3	宇都宮市、鹿沼市 矢板市	口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザの防疫対策について、総会に併せて研修会を行った。

### (6) 伝達性海綿状脳症（TSE）サーベイランス検査

畜種	検査頭数	検査成績
めん羊・山羊	63	全頭陰性

### (7) 報告徴求

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ（以下「本病」）発生予防のため、家畜伝染病予防法第 52 条に基づき、毎月一回、以下の内容で死亡羽数等飼養状況の報告を求めた。

対象	内容
鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ほろほろ鳥及び七面鳥を 100 羽以上（だちょうは 10 羽以上）飼養している農場	各週の飼養羽数、死亡羽数、産卵率の推移並びに本病の可能性を否定できないような状況の有無の確認

その他、本病の可能性を否定できない事態が生じた場合には、直ちにその旨を家畜保健衛生所に報告すること。